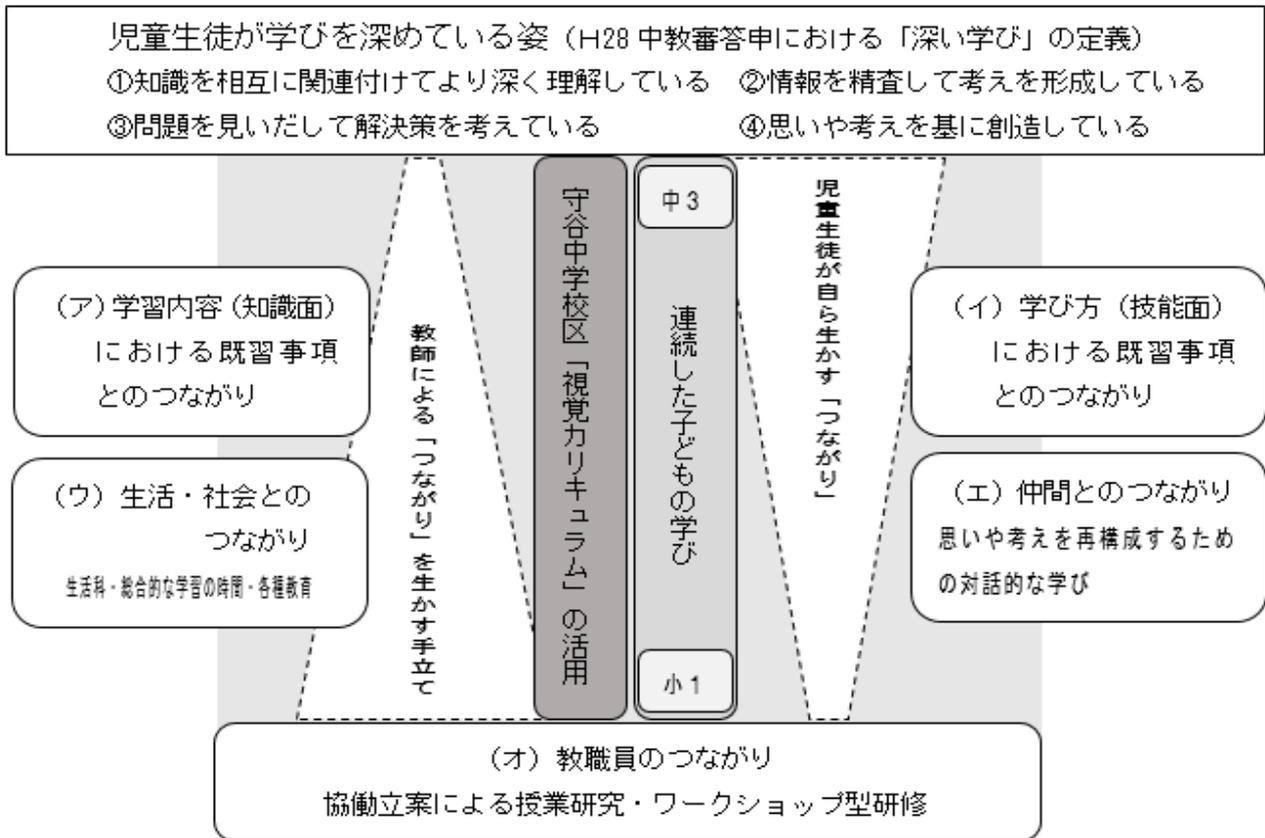


## 資料①

### 令和元年度 守谷中学校区 研究構想図

研究テーマ つながりを生かして学びを深める児童生徒の育成  
～守谷中学校区「視覚カリキュラム」の活用を通して～



## 資料②

### これまでの研修の様子

#### (1) 目指す児童生徒像の共有及び意見交流



研究一年次(写真左)は、目指す生徒像を「学びの手ごたえを実感している生徒」とし、実現に向けての手立てについて意見交流した。二年次(写真右)は、円形のコミュニケーションボードを活用し、ワールドカフェ方式により意見交流を行った。

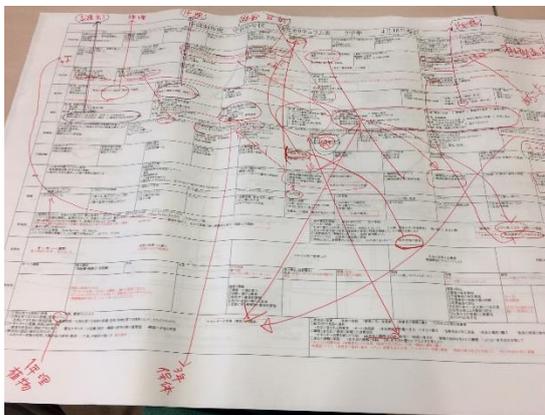
## (2) 守谷中学校区「視覚カリキュラム」を活用した校内研修



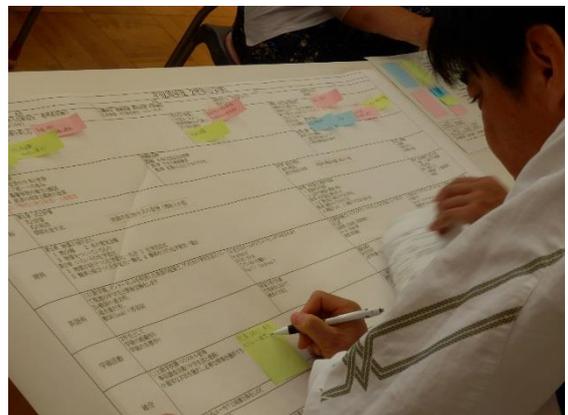
保健体育部は視覚カリキュラムを活用し、小学校からの学びの系統性を見だし、授業づくりに生かした。



国語科、美術科、音楽科それぞれの担当者が集まって、鑑賞活動の学びのつながりについて検討した。



4月に視覚カリキュラムを見て、1年間の学びを俯瞰し、つながりそうな視点を教科の枠を越えて共有した。



8月にはそれまでの授業を振り返り、付箋紙に書き込むことで次年度以降に生かすようにした。

## (3) 教科の枠を越えた相互授業参観・事後検討会



視覚カリキュラムで見いだした教科同士のつながりを生かし、江戸時代の文化史についての学習と浮世絵の鑑賞を関連させた授業を公開した。



経験豊富な理科担当者の公開授業を若手の社会科担当者が参観することで、若手教員の授業力の向上につながった。

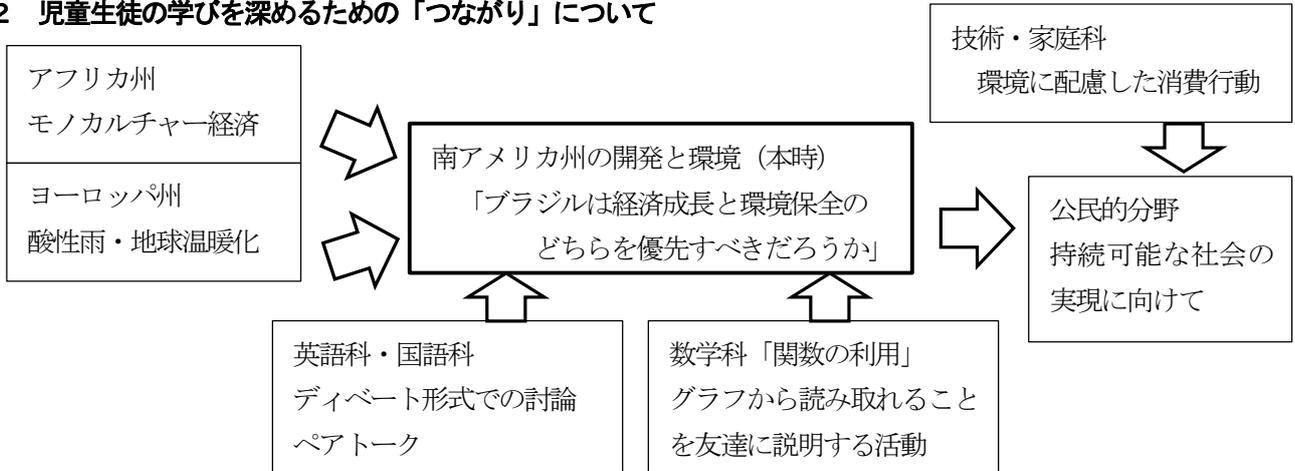
## 資料③

中学校 第1学年 社会科：南アメリカ州の開発と環境

### 1 目指す児童生徒の姿

- ①知識を相互に関連付けてより深く理解している ②情報を精査して考えを形成している

### 2 児童生徒の学びを深めるための「つながり」について



アフリカ州で経済成長の必要性を、ヨーロッパで環境問題について学んだことをつなげて、本時の学習課題を設定する。どちらかの立場に立って、その理由を考える際に、数学科で学習しているグラフの読み取りの力が生かされると考えた。意見交流をする際には、英語科や国語科で経験しているディベート形式によるペアトークを実施することにした。本単元の学習は、公民的分野の持続可能な社会の実現に向けてつながっていく。

### 3 授業における「つながり」を生かした具体的な手立て



これまでに学んだ内容を想起させてから、本単元を貫く学習課題「ブラジルは経済成長と環境保全のどちらを優先すべきだろうか」を提示した。同じ立場を選んだ生徒同士でグループになり調べ学習をしてから、ペアになってディベート形式の討論を行った。数学科で学習した資料を用いながら説明する方法を取り入れながら、話に説得力をもたせようとする生徒の姿が見られた。



### 4 成果

ディベート形式の討論を、社会科では初めて取り入れたが、生徒にとっては他教科で経験しているのでスムーズに活動に入ることができた。数学科で身に付けた、資料を根拠に説明する力を発揮する姿が見られた。

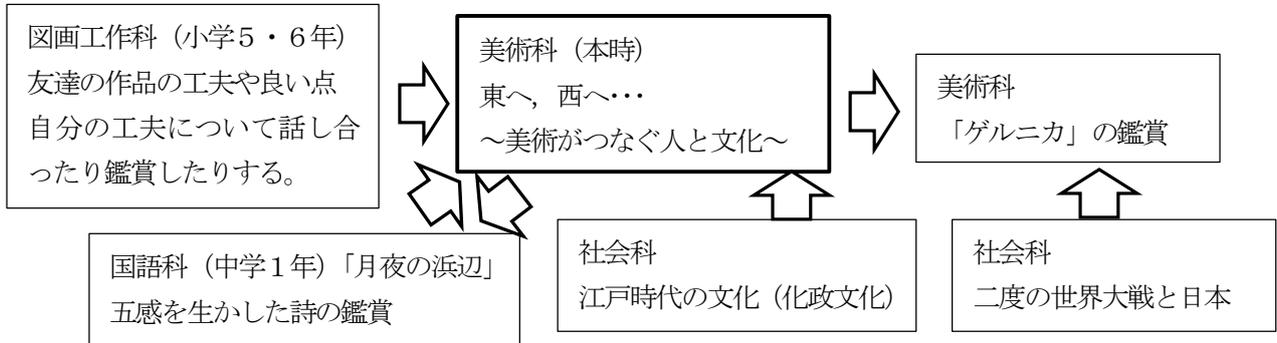
### 5 課題

授業終盤に、現時点での自分の立場を付箋紙で表した。単元を貫く学習課題を設定する際に、生徒の考えの変容をしっかりととらえるような充実した振り返りと、指導と評価の一体化を深める必要がある。

### 1 目指す児童生徒の姿

- ①知識を相互に関連付けてより深く理解している
- ④思いや考えを基に創造している

### 2 児童生徒の学びを深めるための「つながり」について



葛飾北斎の「神奈川沖浪裏」を鑑賞し、受け継がれてきた文化や美術作品に関心を持ち、日本と西洋の美術や文化が影響し合っていることや、相違や共通性に気付き、美術文化を継承し創造することの意義を感じ取ることをねらいとした学習である。当時の社会の状況を理解することでより豊かな鑑賞活動になるようにしたい。また、美術科で鑑賞した経験によって、文化史の学習のより深い理解を促すようにしたい。こうした経験が3学年に実施する「ゲルニカ」の鑑賞に生かされることを期待している。

### 3 授業における「つながり」を生かした具体的な手立て

写真は研究1年次に実施された授業の様子である。生徒の机上には、歴史の教科書と美術の教科書が並べて置かれている。美術の教科書には実物大の作品が掲載されている。生徒からは「このザラザラしたのは…和紙？」といった声上がり、より実感の伴った理解を促すことができた。鑑賞活動に入ると「作品に描かれている船はどこに向かっていのでしょうか？」という発問に対して「大阪！蔵屋敷！」「この波だったら命がけだっただろうな」「どこを通ったんだろう？歴史の教科書を見てみよう」といった声上がり、社会科で学んだことを想起しながら、より豊かに鑑賞に取り組んだ。



研究2年次には、国語科担当者と連携をして授業づくりに取り組んだ。相互授業参観の際に、国語科で五感を生かした詩の鑑賞をしているのを見て、美術科の鑑賞でも取り入れた。「色は？手触りは？音は？匂いは？味わいは？」といった発問をすることで、作品の着眼点を与え、より深まりのある鑑賞活動にすることができた。教科の専門性を互いに生かした、教職員のつながりによってできた授業実践である。



### 4 成果

研究1年次に初めて取り組んだ、教科等横断的な視点に基づいた授業実践である。この実践をきっかけに、担当教科と他教科とのつながりを意識しながら授業づくりに取り組んでいこうという雰囲気が高まった。

### 5 課題

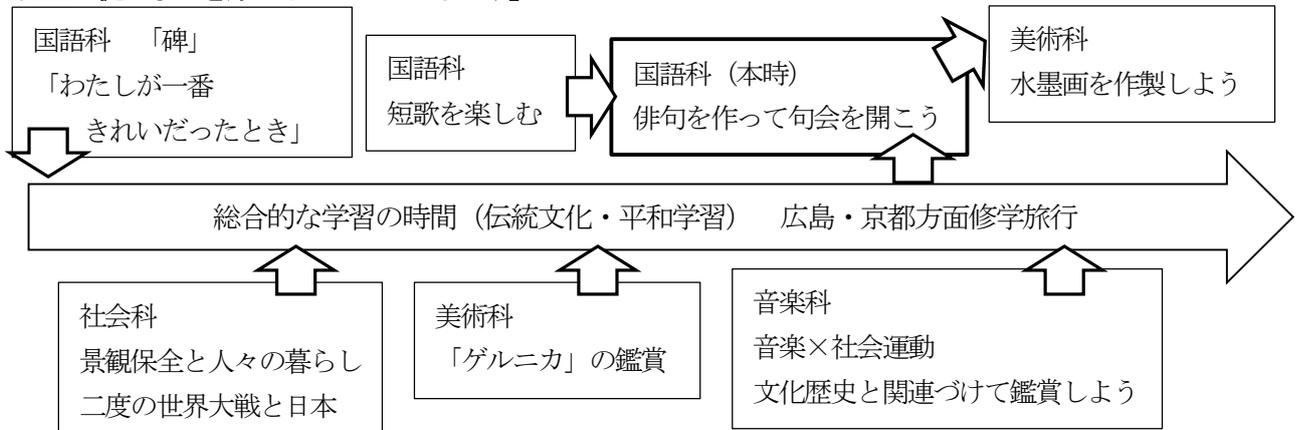
授業者がつなげることを目的化してしまわないようにすることが大切である。それぞれの教科のねらいを達成するための手段としてつなげることを意識して、授業づくりを進めていく必要がある。

中学校 第3学年 国語科：俳句を作って句会を開こう

### 1 目指す児童生徒の姿

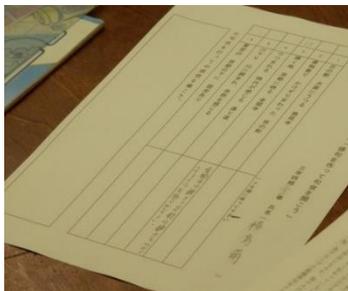
④思いや考えを基に創造している

### 2 児童生徒の学びを深めるための「つながり」について



広島・京都方面への修学旅行を充実した平和学習へと発展させるために、各教科から様々なアプローチがなされている。平和に関する文学作品や芸術作品に触れ、現地に赴いて見聞きしたことを基に、自分の想いを表現することをねらいとしたのが本時の学習である。作った俳句を水墨画と共に作品に表すことによって、さらに豊かな表現活動へと発展させていく。

### 3 授業における「つながり」を生かした具体的な手立て



修学旅行の事前指導の際に、国語科の授業で俳句を作ることを事前に伝え、旅行のしおりに俳句の材料となる語句をメモさせた。旅行終了直後の授業では、広島や京都での思い出の写真をスライドショーにして、学級で見る時間を設定した。こうした「体験の共有」を充実させることによって、俳句の内容に、一人一人の想いが込められた。授業の最後に、国語科で作った俳句を美術科で制作する水墨画とコラボさせることを伝え、10月の松風祭の作品展で展示することができた。



### 4 成果

友達の作品のよさを見つけ合う際に、表現の工夫に「その人らしさ」を感じる生徒が多く見られた。「あの時に一緒に見た景色のことを俳句にしたんだね」という声がグループの中から上がり、体験活動を基にした表現活動の効果を実感することができた。

### 5 課題

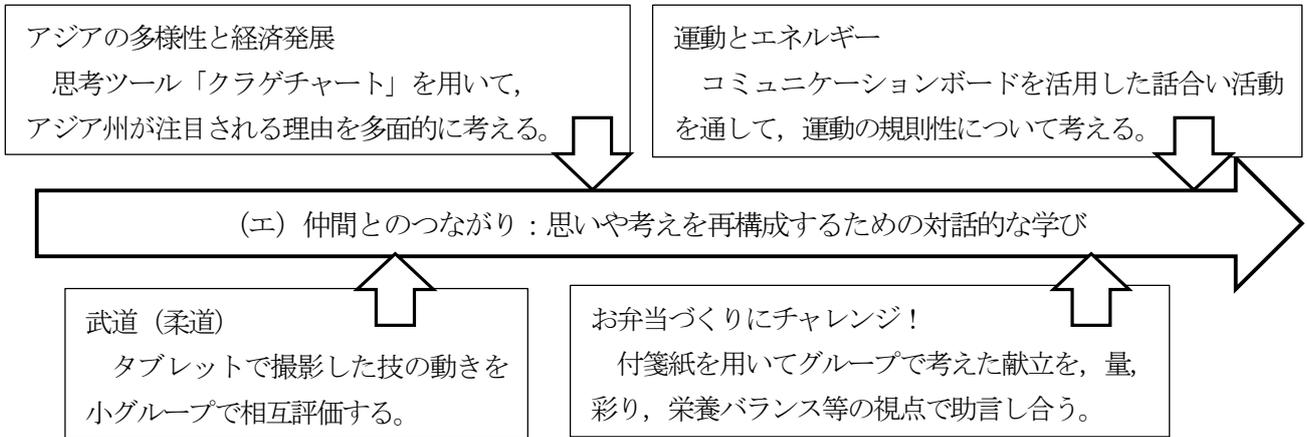
総合的な学習の時間をさらに充実させることで、学びのつながりがより強固なものになると考える。

中学校 第1学年 保健体育科：武道（柔道） 社会科：アジアの多様性と経済発展  
 第2学年 技術・家庭科：お弁当づくりにチャレンジ！  
 第3学年 理科：運動とエネルギー

### 1 目指す児童生徒の姿

②情報を精査して考えを形成している ③問題を見いだして解決策を考えている

### 2 児童生徒の学びを深めるための「つながり」について



各教科の特性に応じて、仲間とのつながりを生かして学びを深めることを目指した授業実践である。いずれの実践においても共通して言えることは、対話的な学びを活性化するために、思考の可視化を行っていることである。さらに、意見交流をする上での視点を、生徒に明確にもたせることで、目的意識をもった活動を目指す。

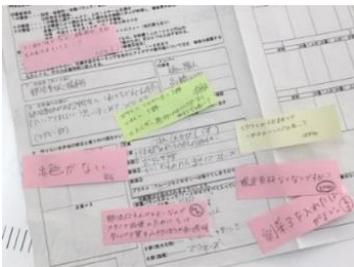
### 3 授業における「つながり」を生かした具体的な手立て



各自が考えた理由を自然、経済、環境等の様々な側面から考えることを促す。



タブレットを活用することで、自分の姿をすぐに可視化し、助言し合うようにする。



助言内容を付箋紙に書く際に、色分けをして事前に視点を与えるようにする。



書きながら話したり、話しながら書いたりすることで、思考の足跡を残す。

### 4 成果

自分の考えを相手に分かりやすく伝えたり、相手の考えを基に自分の考えを広げたりするために、思考を可視化することは有効であった。付箋紙や思考ツールを用いることにより、意見交流をする際の視点が明確になり、振り返りの中にも、友達の助言を取り入れて次回の学習につなげようとしている様子が見られた。

### 5 課題

国語科を中核にして、言語活動が各教科の学習活動としてさらに有機的につながっていくことが必要である。様々な形態の言語活動の経験をさせ、課題に応じて適切な活動を自ら選択することができるようにしていきたい。



資料⑤ 視覚カリキュラムを活用して見いだした教科・領域同士で「つながりそうな視点」①

1年	4月	理科	植物の体のつくりとはたらき	⇔	2年	前期	技術	生物を育てるための計画と管理(トマトの栽培)
	4月	数学	正の数・負の数	⇔	2年	6月	社会	世界から見た日本のすがた 時差
	6月	数学	文字式	⇔	2年	4月	理科	化学変化 化学反応式
	9月	理科	水溶液の濃度	⇔	2年	6月	数学	連立方程式の利用→食塩水の濃度に関する問題
	9月	保健体育	呼吸器・循環器の発育・発達	⇔	2年	9月	理科	生命を維持するはたらき
	10月	社会	アフリカ州の産業	⇔	3年	6月	英語	ガーナの 카카오 産業・フェアトレードについて
					3年	9月	国語	批評文 フェアトレード, 異文化
					3年	12月	社会	これからの日本経済の課題
	12月	国語	案内や報告の文章を書こう	⇔	1年	12月	総合	スキー学習の案内を書く
	1月	国語	学校新聞の記事を書こう	⇔	1年	1月	総合	小学6年生に向けて「スキー学習新聞」の作成
	2月	数学	空間の図形 立体の表面積	⇔	1年	後期	技術	制作品の設計 見取り図・投影図
	3月	社会	結びつく世界との出会い	⇔			美術	ルネサンスと美術作品
後期	保健体育	生殖機能の成熟	⇔	3年	7月	理科	生物の成長とふえ方	

2年	4月	数学	式の利用・関係を表す式	⇔	3年		理科	地球の直径や月の直径
	5月	社会	江戸の町人文化	⇔	2年	4月	美術	東へ西へ…「神奈川沖浪裏」の鑑賞
					2年	後期	音楽	歌舞伎
					3年	4月	英語	浮世絵が西洋画家に与えた影響
	6月	社会	世界から見た日本のすがた	⇔	2年	5月	英語	光太はゴールデンウィークにイギリスを訪れます
	6月	社会	日本のさまざまな地域 自然災害について	⇔	2年	後期	保健体育	自然災害の一時災害と二次災害
	7月	国語	調べて考えたことを伝えよう	⇔	2年	1月	総合	職場体験学習発表会
	7月	国語	調べて考えたことを伝えよう	⇔	通年		理科	実験・観察の考察、まとめ
	7月	英語	職業体験に行って自分の将来について考える	⇔	2年		総合	職場体験活動計画の作成

資料⑤ 視覚カリキュラムを活用して見いだした教科・領域同士で「つながりそうな視点」②

2年	7月	国語	小さな労働者(人権)	⇔	2年	7月	社会	産業革命の光と影(過酷な労働環境)
					3年	9月	社会	基本的人権の尊重
	前期	技術	電気エネルギーの変換と利用	⇔	2年	11月	理科	電流と磁界 電磁誘導と発電
					2年	後期	家庭	エネルギー消費と環境
					2年	3月	英語	再生可能なエネルギーに関する説明文
					3年	6月	理科	仕事とエネルギー
	10月	国語	依頼状やお礼状を書こう	⇔	2年	11月	総合	職場体験学習
	10月	学級活動	合唱コンクール クラスでの協力	⇔	2年	後期	音楽	混声合唱の表現
10月	道徳	父の仕事	⇔	2年	10月	総合	職場体験活動計画の作成	
10月	数学	平行と合同	⇔	3年	後期	技術	情報	
1月	社会	明治維新と立憲国家への歩み	⇔	2年	後期	音楽	日本のうた	
1月	国語	わたしが一番きれいだったとき	⇔	2年		総合	平和教育講演会	
後期	家庭	食生活と栄養 中学生に必要な栄養素	⇔	3年	7月	保健体育	食生活と健康	

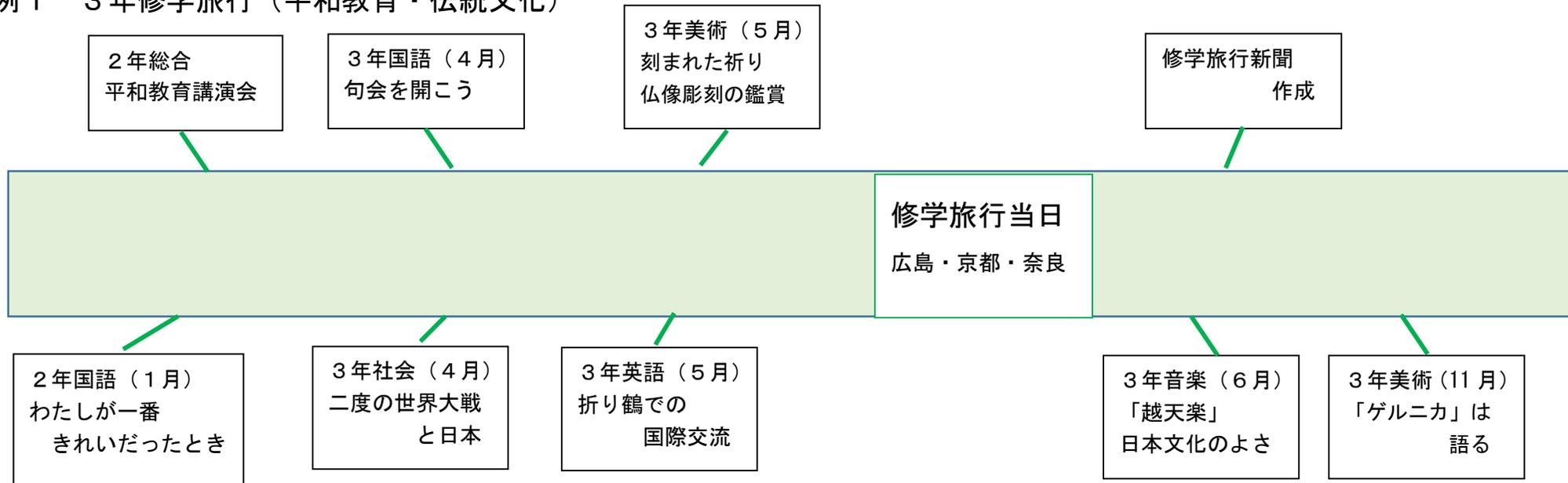
3年	5月	理科	物体の運動 運動の速さと向き	⇔	通年		数学	関数(比例・一次関数・二次関数)的な考え方
	後期	技術	パワーポイントを活用してのプレゼン作成	⇔	通年		各教科	効果的な発表
	11月	保健体育	体育理論 「世界のスポーツ大会」	⇔	3年	11月	総合	世界の中の日本 レポート作成
	1月	国語	議論する力 合意を形成する	⇔	3年	9月	社会	対立と合意 効率と公正
	2月	社会	国際社会が抱える課題	⇔	3年	2月	理科	再生可能エネルギー エネルギー利用の課題
	2月	道徳	「手紙」→扇子づくり	⇔	3年	2月	美術	扇子づくり→卒業式会場に掲示

通年		音楽	歌詞を味わう, 自分の言葉で曲の雰囲気を表す	⇔	通年		国語	言語活動 効果的な表現の仕方
	9・10月	学校行事	体育祭・松風祭		通年	9・10月	道徳	集団や社会の一員として 伝統の継承

資料⑥ 教科・領域同士で「つながりそうな視点」③

～中心軸となる学習活動に関連させる視点～

例1 3年修学旅行（平和教育・伝統文化）



例2 人権教育の充実

